

7. 健康・医療

	タイトル	意見等
1	レプリコンワクチンについて	<p>新型コロナウイルス感染症に対する次世代mRNAワクチン(レプリコン)「コストイベ筋注用」が国内製造販売承認を取得し、年明けから使用されることが予定されているようです。このワクチンは武漢型やオミクロンBa4?5に対する中和抗体価が既存ワクチンより高く、抗体価は6ヶ月間持続すると確認されているようです。実際の効果はベトナムにおける臨床試験でデルタ株流行時に確認されたとのことですが、現在流行している変異ウイルスに対しても効果が期待できるとは思えません。効果が期待できないワクチンを接種することは、デメリットしかありません。国や厚労省から圧力があつたとしても、県民を守る観点から、毅然と拒否していただきたいと思ひます。</p>
2	地域医療連携における医療費負担について	<p>過日吉野川運動広場で右肩を痛めたため、自分の車で診察を受けたことのある徳島市内の整形外科を受診し、レントゲン撮影の結果、鎖骨骨折と診断されました。この整形外科では手術を行っておらず、徳島市民病院を紹介されました。徳島市民病院で予約のとれた4日後に、再度レントゲンとMRIを撮影し、翌日入院、翌々日手術(怪我をして1週間後)となりました。</p> <p>さて、地域医療連携という制度で、県立病院や市民病院など大規模病院は直接受診できないことになっていると思ひます。ただ、救急搬送されたり、紹介状が無くても5,000円程度の初診料を支払うことで受付して貰えることになっていると思ひます(私の母が怪我をした時に経験済み)</p> <p>今回は怪我をした場所から一番近い市民病院を先に受診出来なかったことで、治療(手術まで)に時間を要したこと、また、それぞれの病院で初診料とレントゲン撮影の治療費が必要となったことについて、問題提起させていただきます。</p> <p>地域医療連携というのは大病院の混雑を避けるため、かかりつけ等の病院に初期の診察をしてもらう制度であると理解しています。ただ、前述のとおり、初診料やレントゲン撮影のダブリはすべて患者負担となり、医療費(健康保険)の高騰にも繋がっているのではないのでしょうか？また、大病院を紹介してもらうことにも紹介料を支払っております。</p> <p>今回の場合でいうと、最初の整形外科に支払った初診料とレントゲンに紹介料を合わせると5,000円をオーバーしております。結果的に5,000円を支払って市民病院に最初に行った方が良かったのでは？ということになります。</p> <p>医療連携を推進するのであれば、紹介料や紹介先の初診料が生じるのはおかしくはありませんか？レントゲンについても医者に言われるままに再撮影しましたが、後で思えばより精細なMRIを撮影するのであれば紹介元からレントゲンは撮影データが送られているので、レントゲンを取り直す必要があつたのかも疑問に思えます。同じようなことを数年前にも経験(当時は整形外科→小松島赤十字病院→徳島市民病院と3病院を受診)し、母親の件(5,000円の初診料を支払って県立病院を受診)を含めると3回目となり、医療連携で時間がかかったり患者負担が多くなることを疑問に思ひましたので、スムーズかつ費用負担の少ない連系ができないものかと思ひ意見出しさせていただきます。</p>